
YUTAKA
2008年3月期
中間決算説明会
2007年11月1日
株式会社ユタカ技研

YUTAKA

ご説明内容

- ２００８年3月期 中間決算概要
- ２００８年3月期 見通し
- その他 トピックス

YUTAKA

2008年3月期
中間決算概況

08年3月期中間決算概況 ＜連結＞

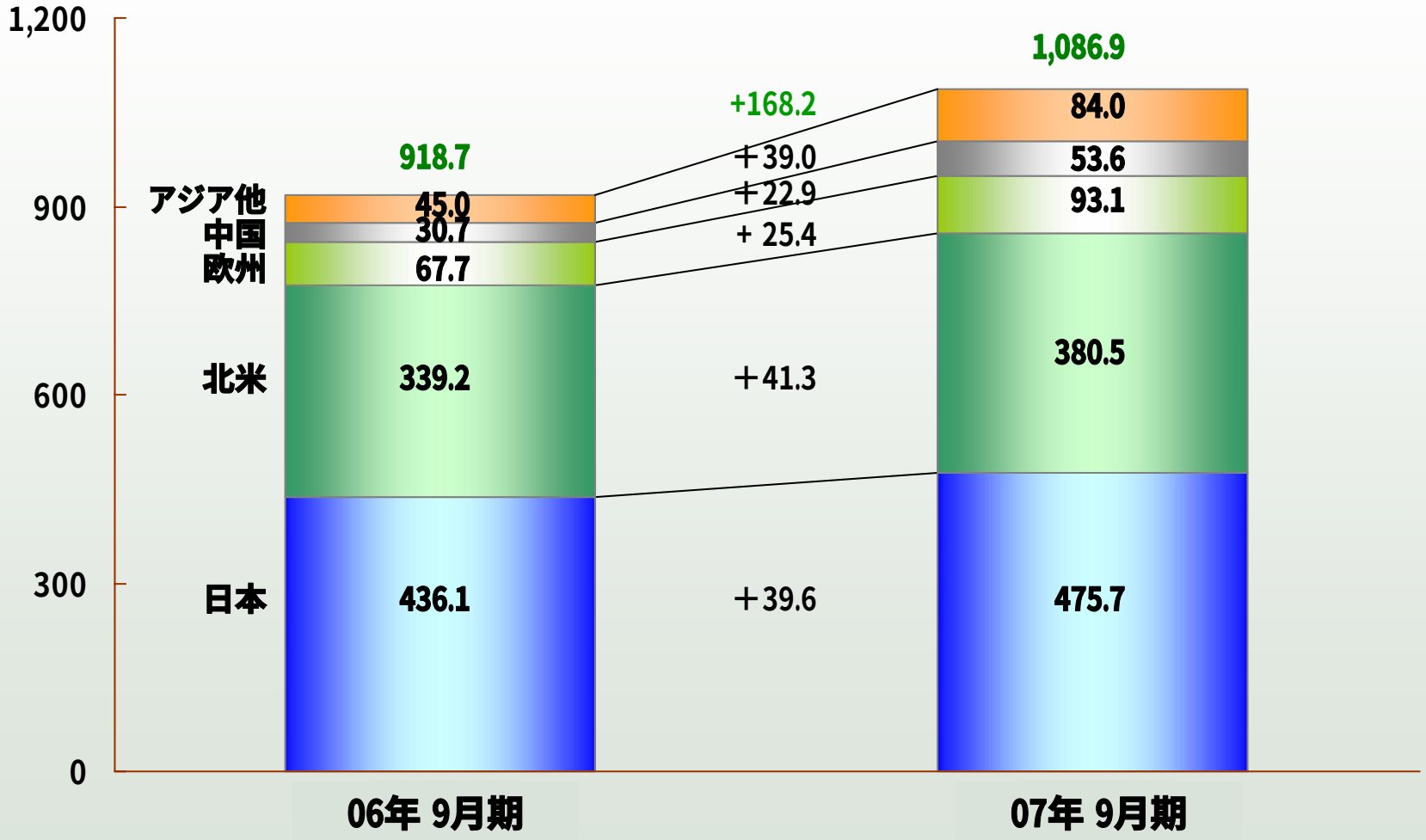
(単位：億円)

	06年 9月期	07年 9月期	前年同期比
売上高	918.7	1,086.9	18.3%
営業利益	35.5	40.3	13.7%
経常利益	38.3	43.0	12.3%
中間純利益	22.3 ＊鈴鹿製作所の土地・建物減損△1.9を含む	25.9	16.1%
1株当り中間純利益	151.16円	175.50円	16.1%
1株当り中間配当金	15.0円	17.0円	+2円
	($1=\115)	($1=\119)	

売上高・営業利益・経常利益ともに過去最高

08年3月期中間決算概況 ＜連結＞　地域別売上高

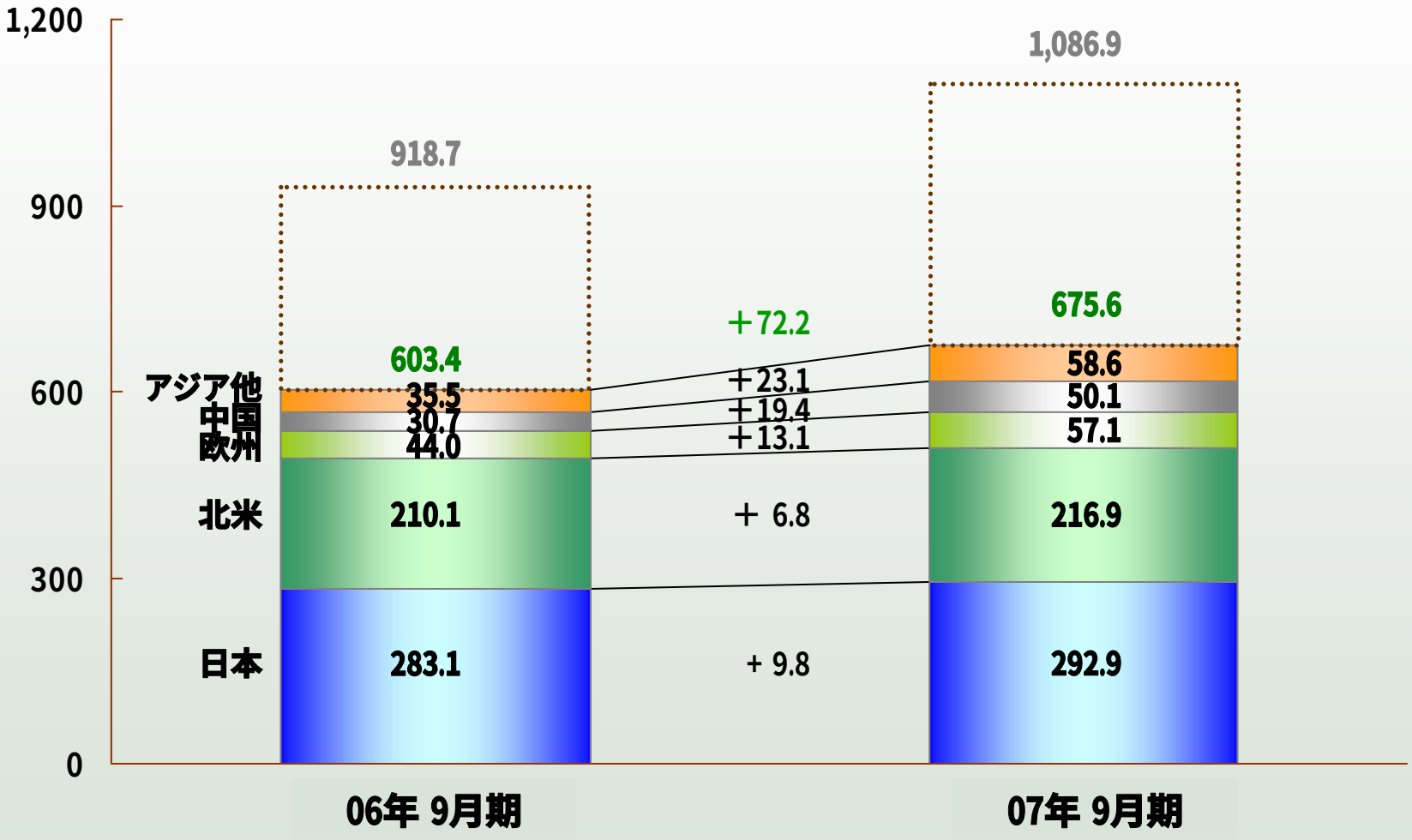
(単位：億円)



全地域で増収

08年3月期中間決算概況 ＜連結＞　地域別売上高 (キャタリスト抜き)

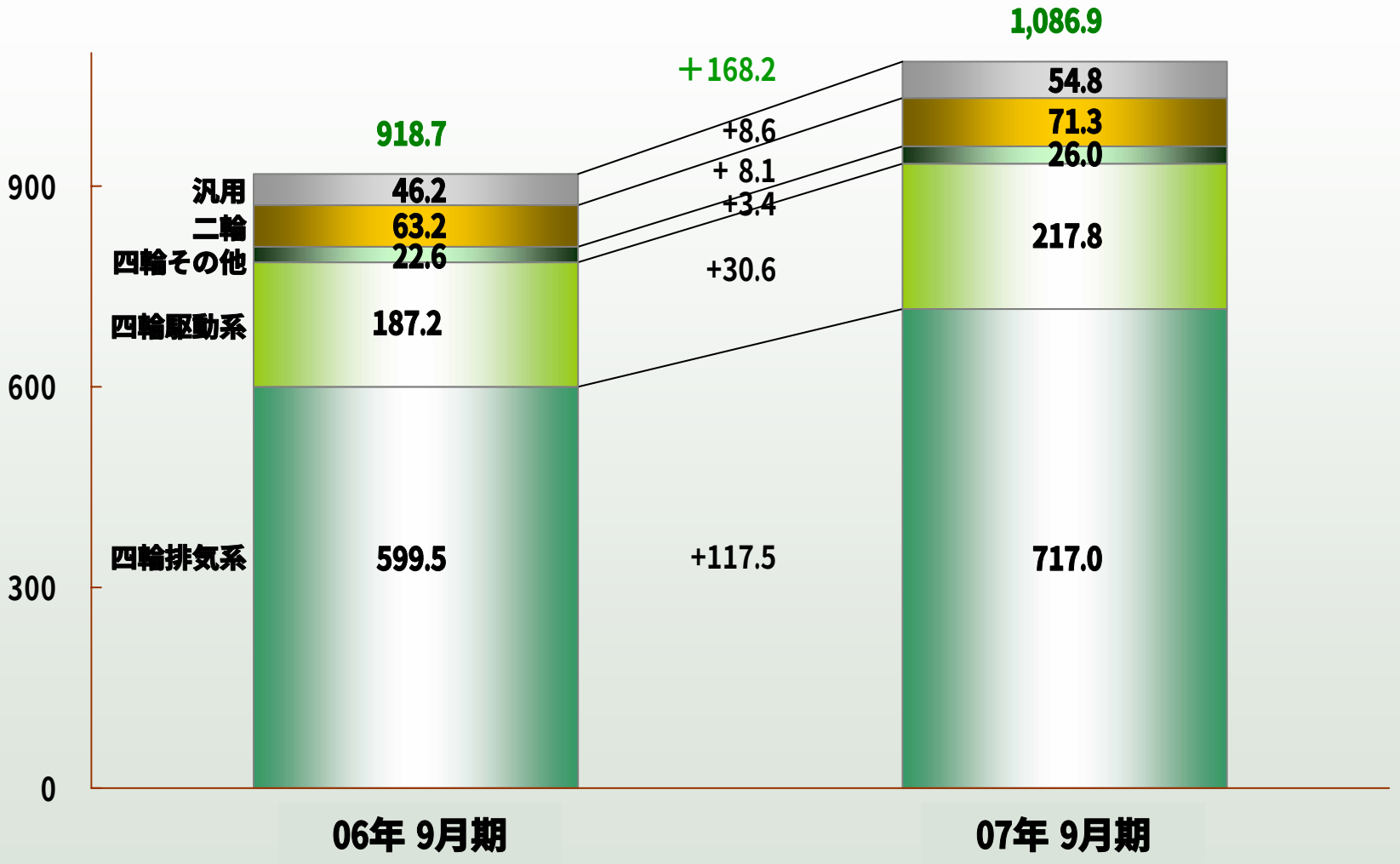
(単位：億円)



キャタリスト抜きでも、全地域で増収

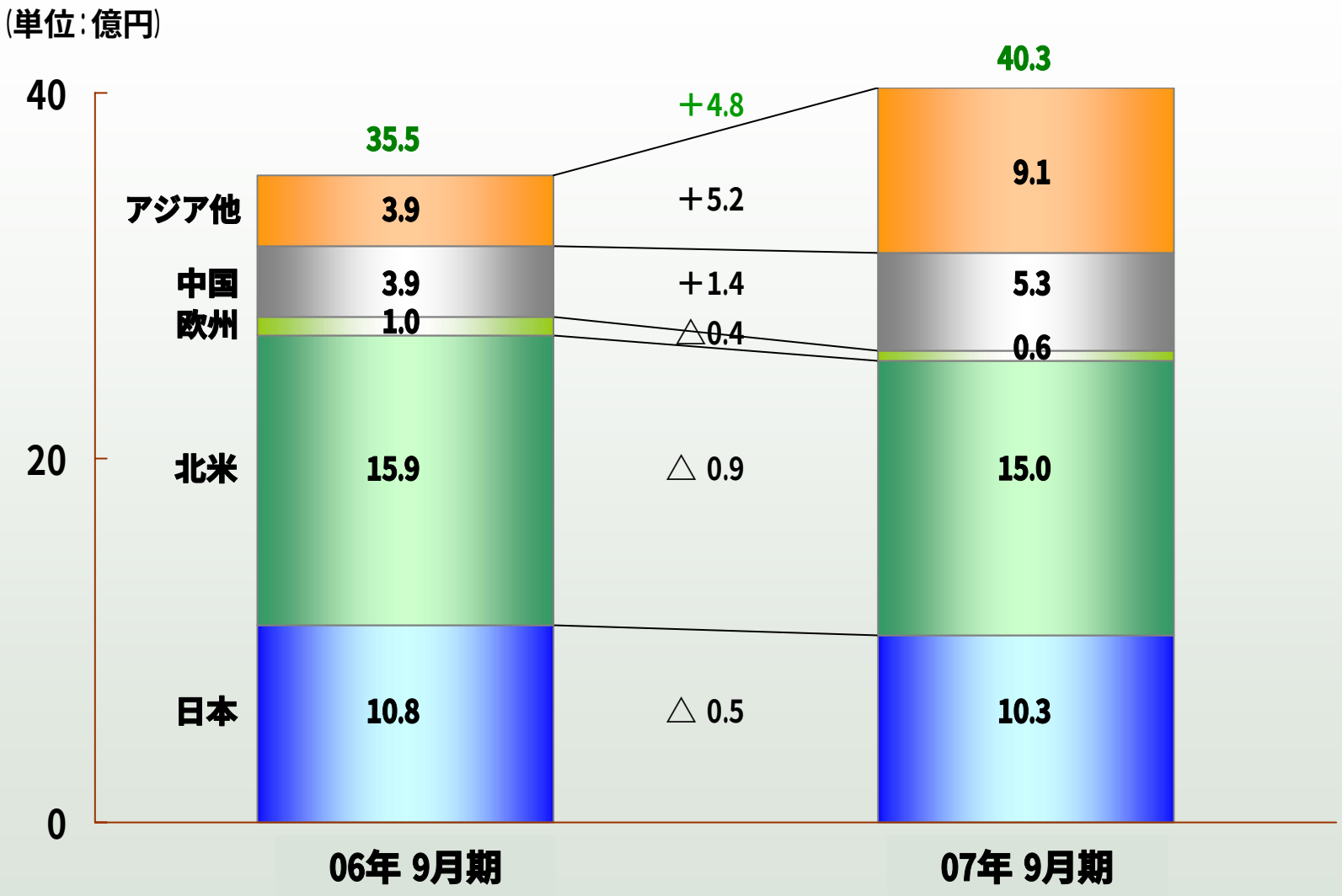
08年3月期中間決算概況 ＜連結＞ 製品別売上高

(単位：億円)



四輪排気系・駆動系の増収が大きく寄与

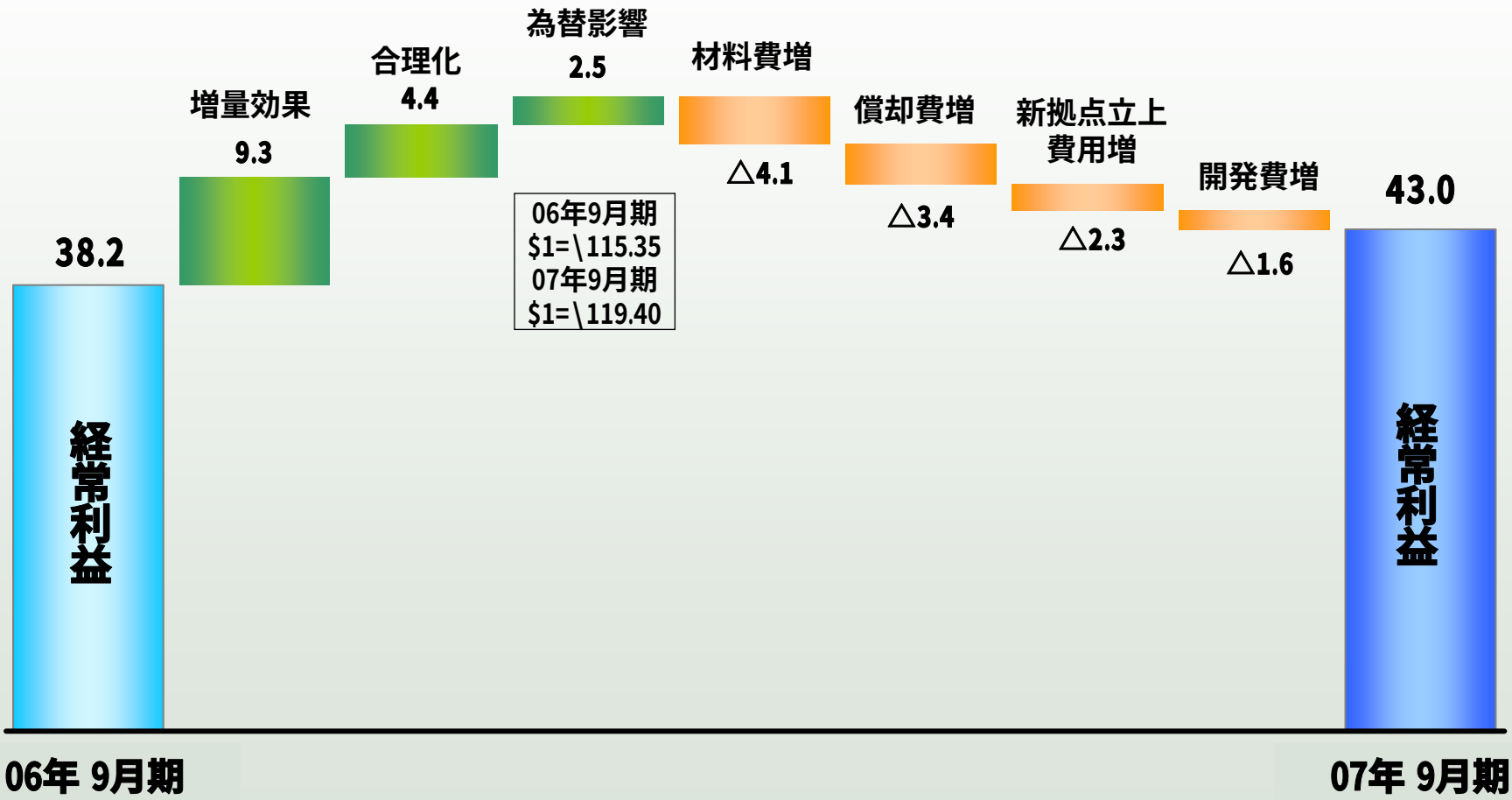
08年3月期中間決算概況 ＜連結＞　地域別営業利益



中国・アジアの増益により、全体も増益

08年3月期中間決算概況 ＜連結＞　経常利益 増減要因

(単位:億円)



材料費増と償却費等の減益要因を吸収し増益

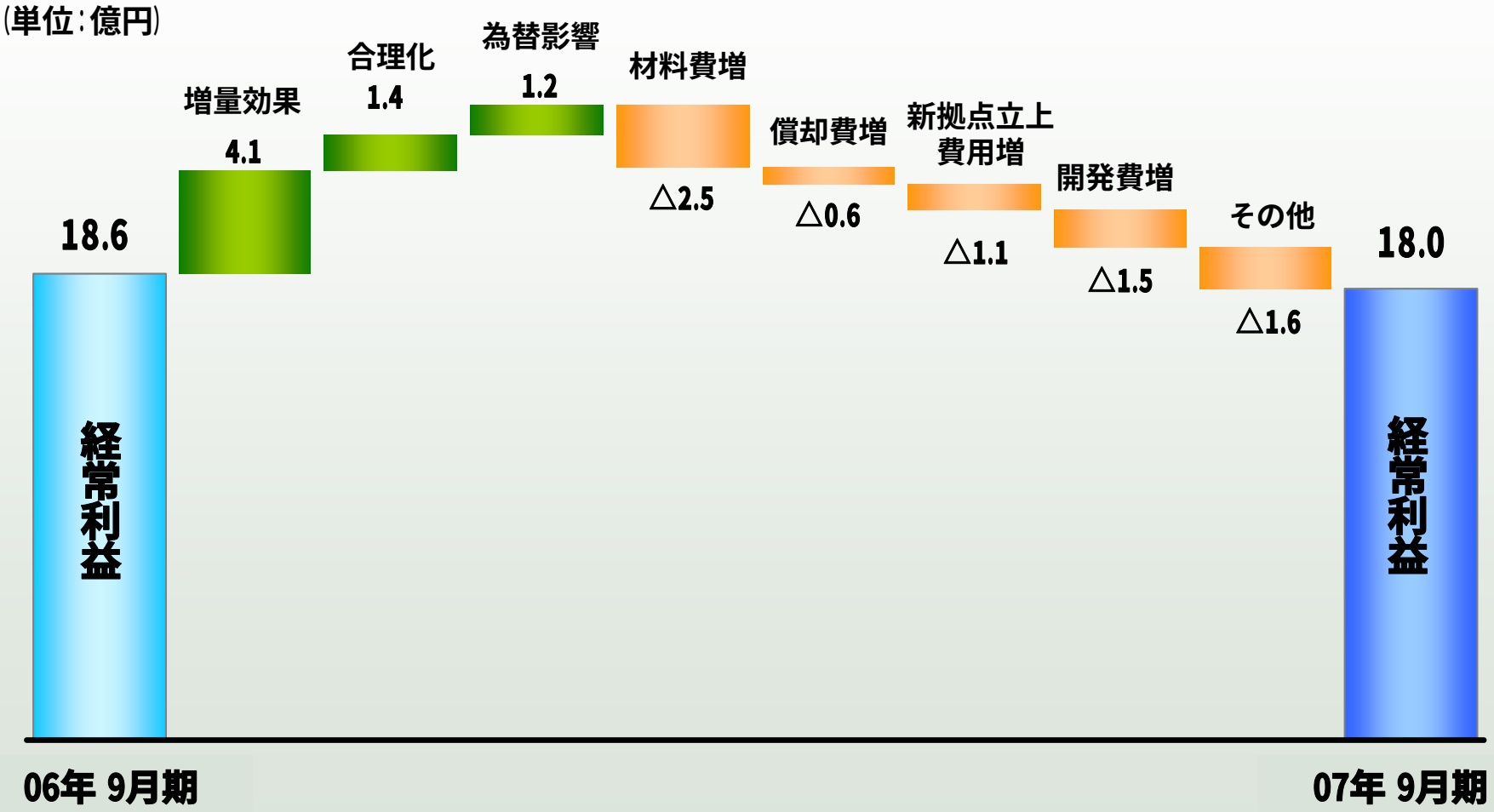
08年3月期中間決算概況 ＜単独＞

(単位：億円)

	06年 9月期	07年 9月期	前年同期比
売上高	521.2	581.0	11.5%
営業利益	10.0	9.2	△ 8.5%
経常利益	18.6	18.0	△ 3.1%
中間純利益	11.4 ＊鈴鹿製作所の土地・建物減損△1.9を含む	13.3	17.0%
1株当り中間純利益	76.97円	90.06円	17.0%
	($1=\115)	($1=\119)	

増収ながら経常利益は微減

08年3月期中間決算概況 ＜単独＞　経常利益 増減要因



増量、合理化効果はあったものの材料費増等の負担増により微減

YUTAKA

2008年3月期
見通し

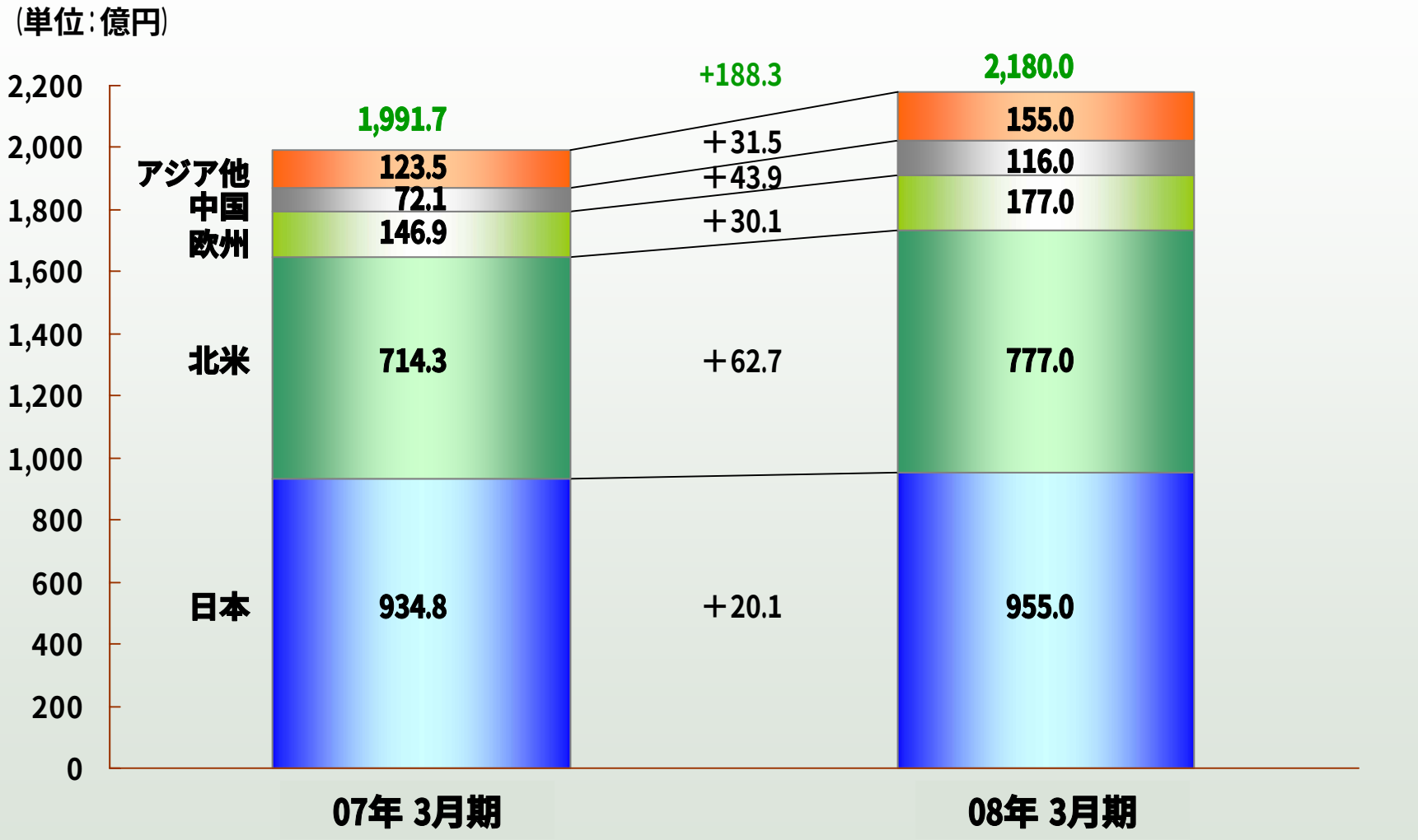
08年3月期見通し ＜連結＞

(単位：億円)

	07年 3月期	08年 3月期	前期比
売上高	1,991.7	2,180.0	9.5%
営業利益	82.3	92.0	11.7%
経常利益	91.1	96.0	5.4%
当期純利益	55.0 ＊鈴鹿製作所の土地・建物減損△1.9を含む	60.0	9.0%
1株当り当期純利益	371.97円	405.44円	9.0%
1株当り配当金	30.0円	34.0円	+4円
	($1=\117)	(上期$1=\119 下期$1=\115)	

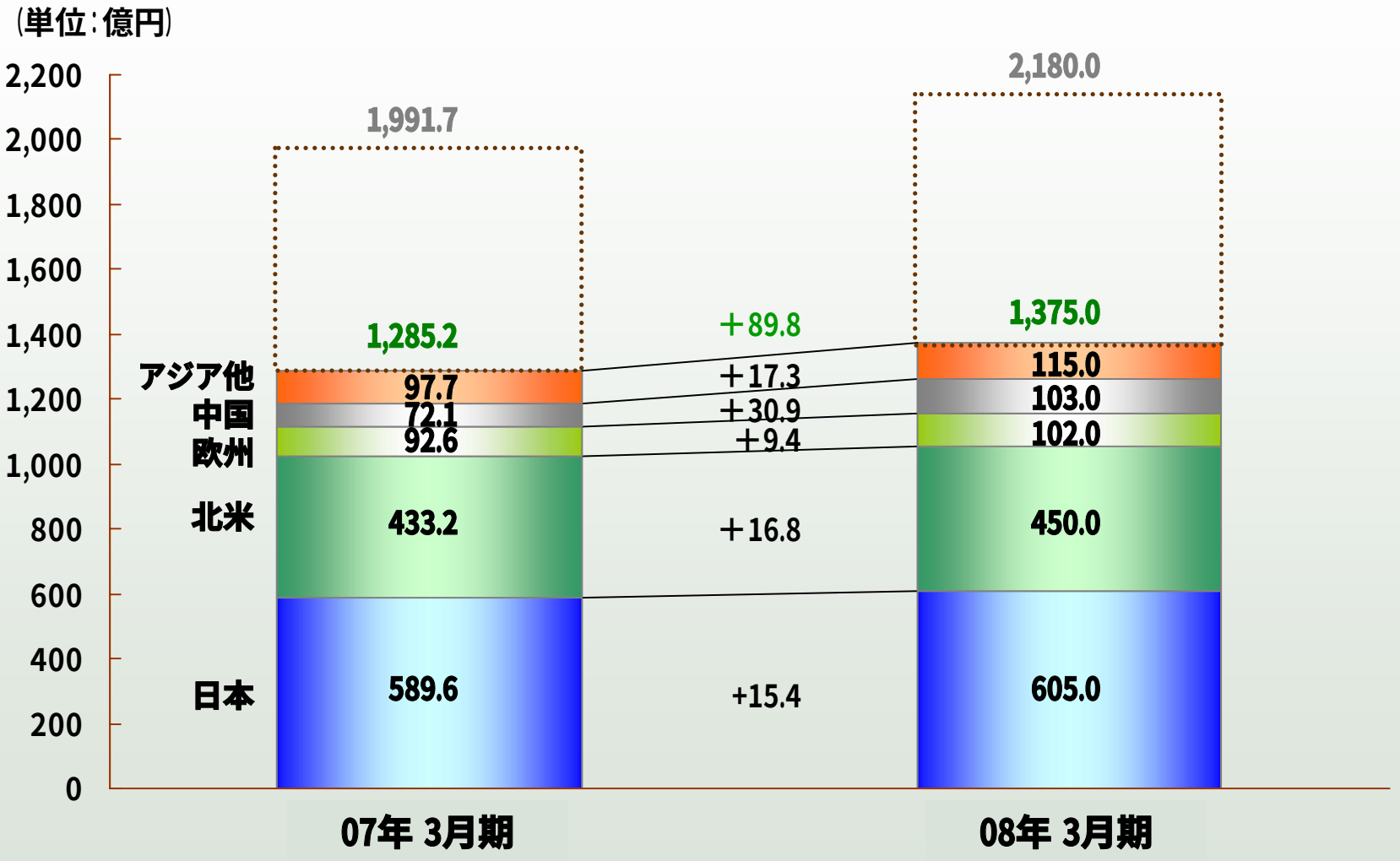
売上高・利益とも過去最高の見通し

08年3月期見通し ＜連結＞　地域別売上高



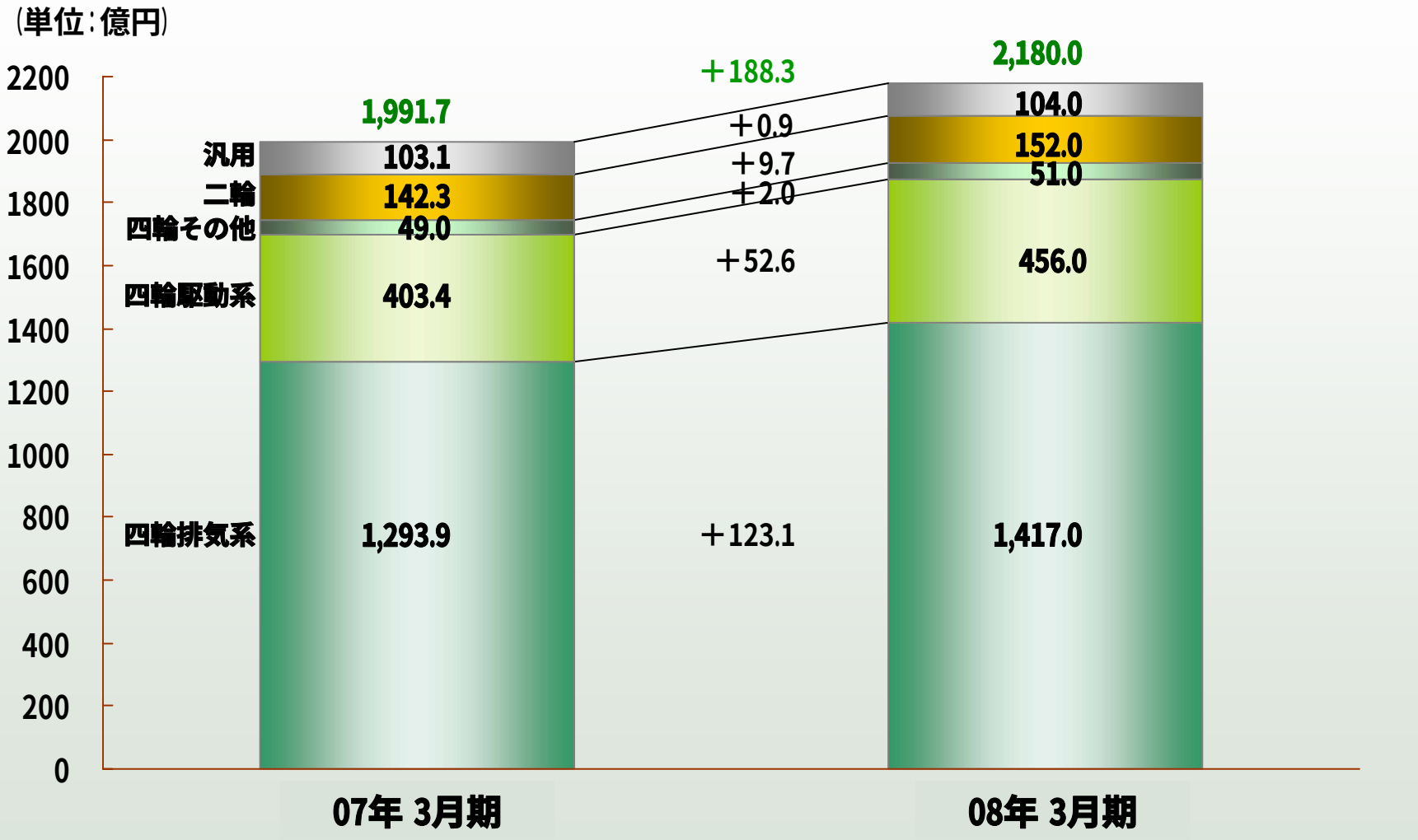
全地域で増収

08年3月期見通し ＜連結＞　地域別売上高 (キャタリスト抜き)



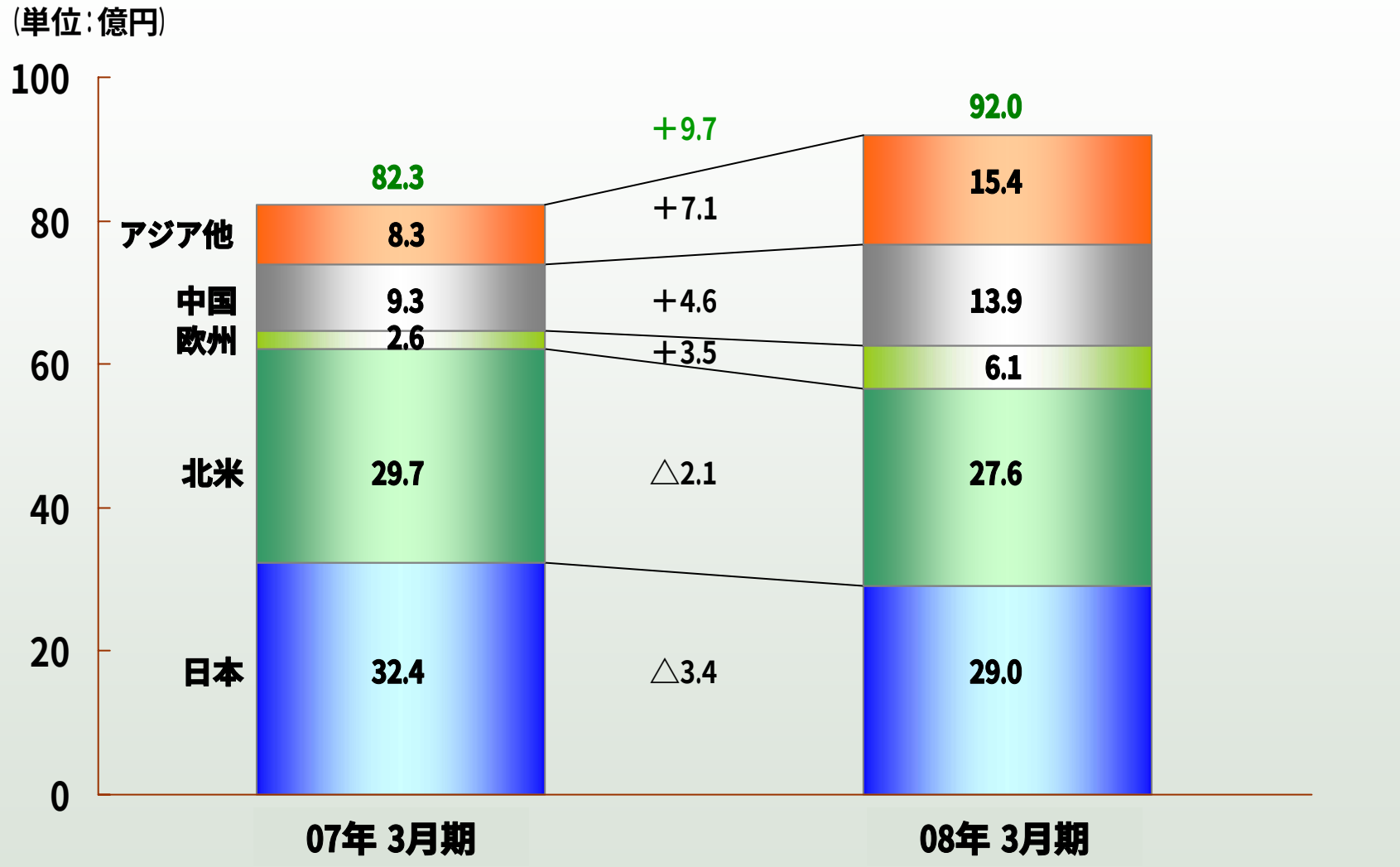
キャタリスト抜きでも全地域で増収

08年3月期見通し ＜連結＞ 製品別売上高



四輪排気系及び駆動系を中心に増収

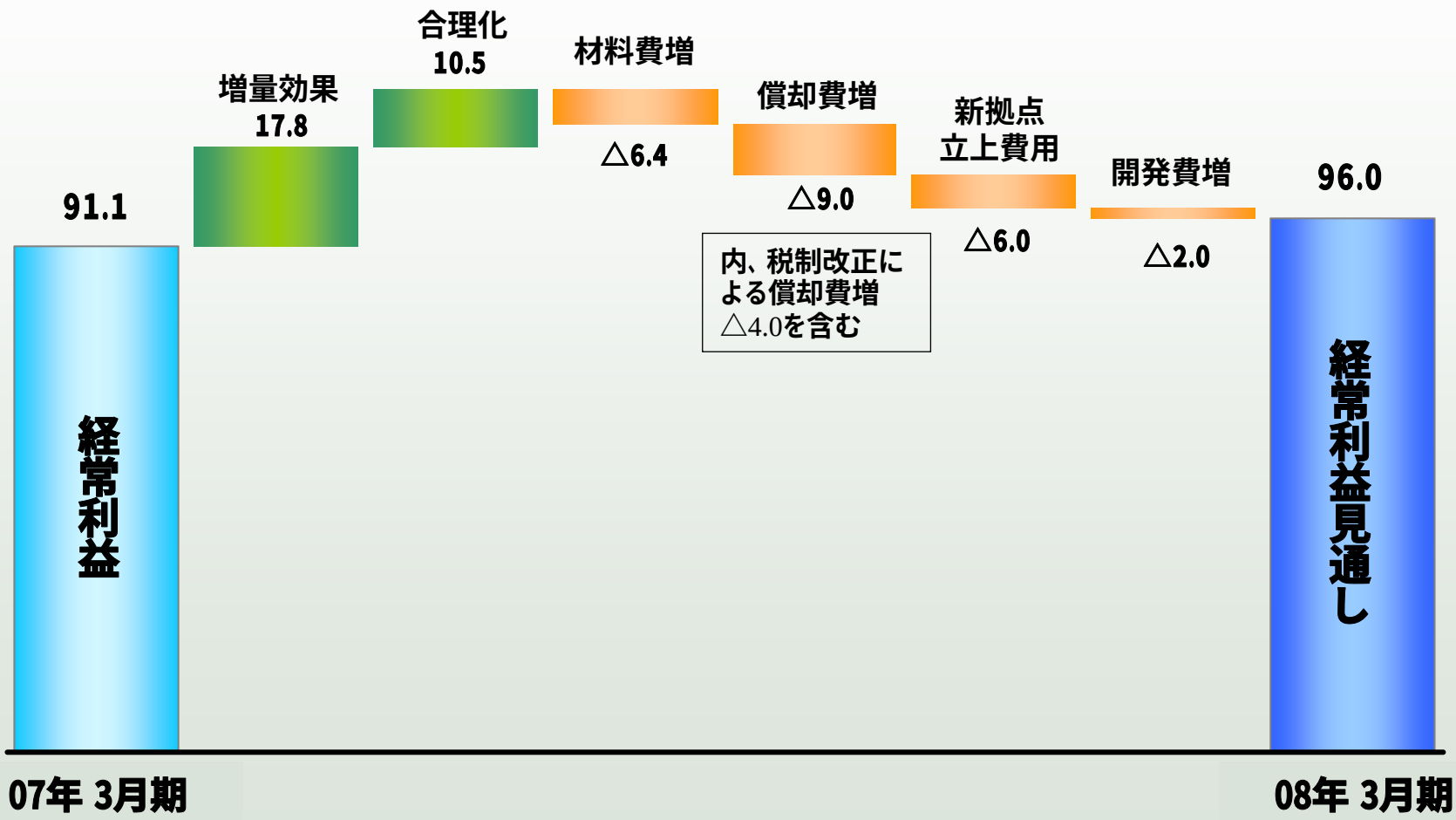
08年3月期見通し ＜連結＞　地域別営業利益



アジア・中国地域の増益により、全体でも増益

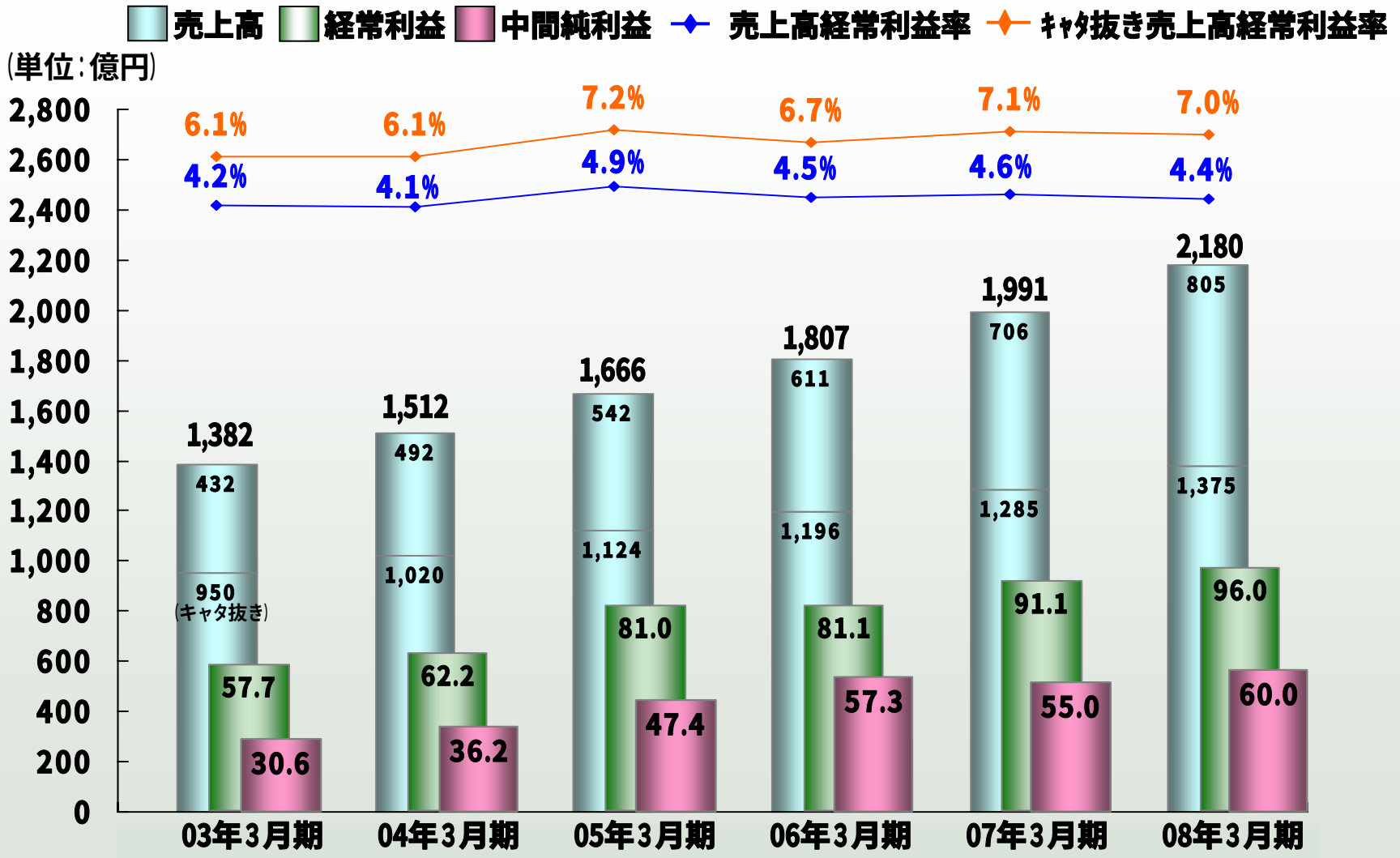
08年3月期見通し ＜連結＞　経常利益 増減要因

(単位：億円)



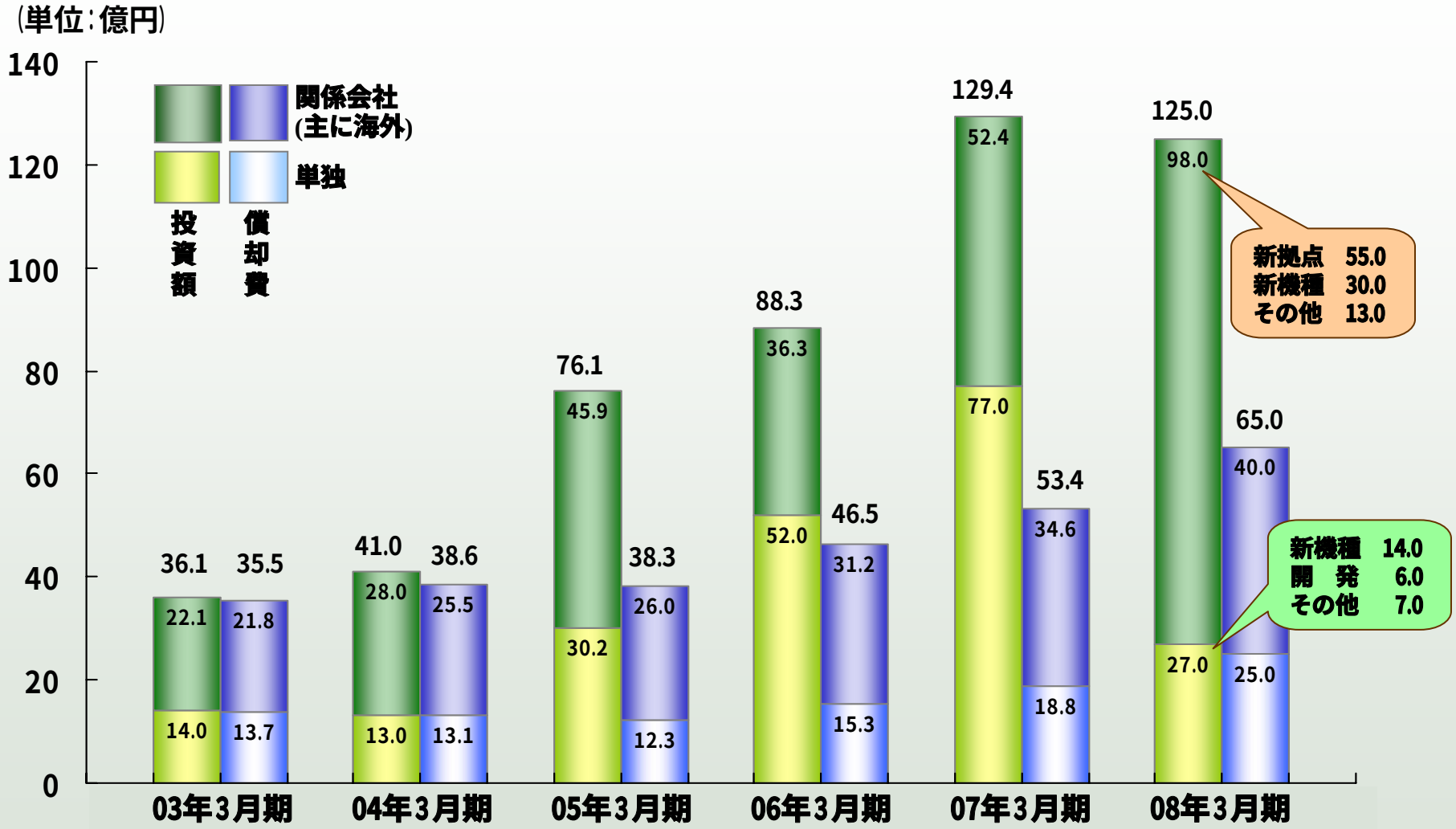
材料費及び償却費等の負担増を吸収し増益

08年3月期見通し ＜連結＞ 売上及び利益の推移



売上は5年連続、経常利益は１１年連続の増益

08年3月期見通し ＜連結＞　設備投資額の推移



国内は減少し、海外は新拠点投資で増加

YUTAKA

その他 トピックス

ユタカのビジネス展開の考え方

基本方針　　：需要のあるところで生産する
基本スタンス：一貫生産、相互補完

主幹3本柱製品

駆動系製品

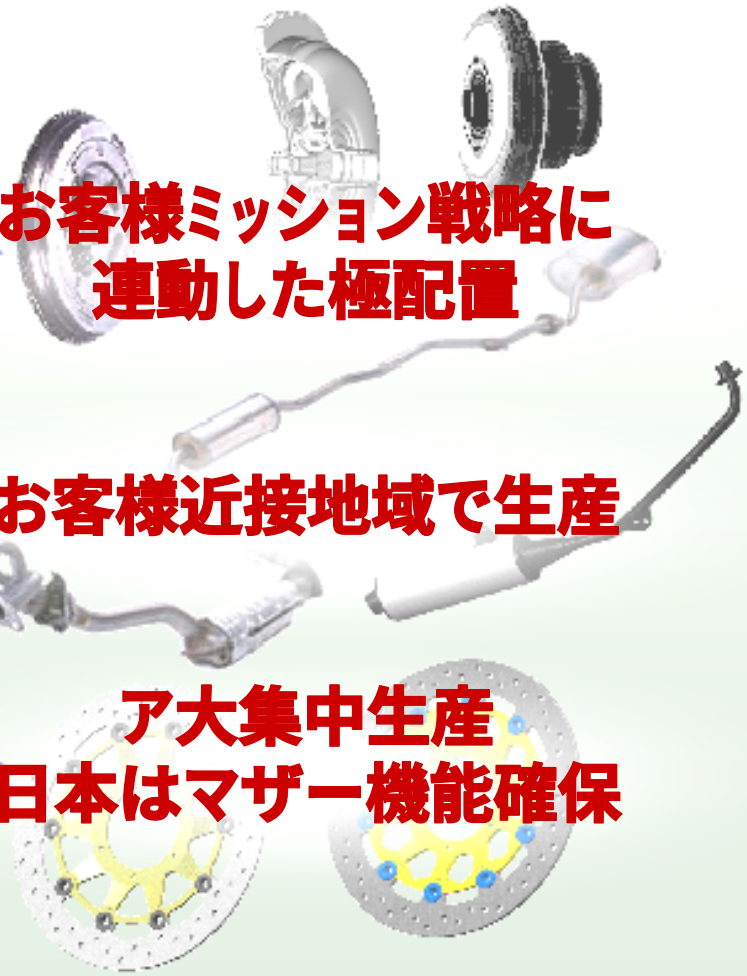
トルクコンバータ、ドライブプレート他

排気系製品

エキゾーストマニホールド、サイレンサー他

制動系製品

二輪ブレーキディスク



お客様ミッション戦略に
連動した極配置

お客様近接地域で生産

ア大集中生産
日本はマザー機能確保

国内拠点

4製作所を製品別の工場とし、研究所を統合



高丘製作所



制動系製品

三重製作所（07年5月稼働）



排気系製品

栃木開発センター（06年10月稼働）



嵐山製作所（06年2月稼働）



排気系製品

本社・豊製作所



駆動系製品

新日工業株式会社

株式会社スミレックス

国内拠点　＜豊製作所＞

＜トルクコンバータの専門工場＞

- 高効率なラインレイアウトへ再編
- 物流レイアウトの見直し
- 新しいロー付け炉の設置

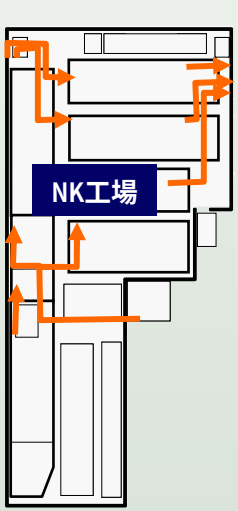
生産性向上および環境にやさしい
工場の実現

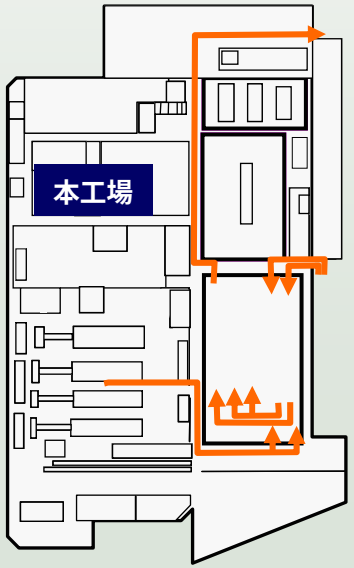
２００７年８月レイアウト再編完了





＜工場毎の自己完結レイアウト＞





少量多機種工場　　量産機種工場

国内拠点　＜三重製作所＞

＜ホンダ鈴鹿製作所様向け排気系製品工場＞

- 内作取り入れによる一貫加工
- 物流の整理
- 生産ラインの高効率化

ＣＯ２排出量の抑制、緑化など環境にも配慮した工場

２００７年５月より稼働


工場内



工場外観

国内拠点　＜栃木開発センター＞

＜浜松と栃木の技術研究所を統合＞

- お客様の近くで開発のスピードアップ
- 開発機能を集約し効率を向上
- 試験設備を拡充し開発の自立化を促進

お客様との開発共創体制を強化

２００６年１０月新体制稼働


試験設備


エンジンベンチ



新建屋外観

海外拠点

お客様の拡大するグローバル展開に合わせた
新拠点設立と既存拠点の充実



海外拠点＜アメリカ＞

ACYT (Alabama Cullman Yutaka Technologies LLC.)

＜Honda Manufacturing of Alabama LLC様向け排気系、駆動系製品の生産拠点＞

- 北米地域での更なる競争力向上を図る
- よりお客様に近いところで生産

２００８年３月より稼働予定


外観（０７年１０月撮影）




設置される工作機

海外拠点 ＜ブラジル＞

YDB (Yutaka Do Brazil Ltda.)

＜ Honda Automoveis do Brasil Ltda様
向け排気系製品の生産拠点 ＞

- 急成長するブラジル市場に対応した
  生産能力拡大
- 委託生産方式から自前生産に切り替え

２００８年８月より稼働予定



建屋イメージ




２００７年４月１２日　起工式

海外拠点 ＜インド＞

ＹＡＩ (Yutaka Autoparts India Private Ltd.)

＜Honda Siel Cars India Ltd.様向け
排気系製品の生産拠点＞

- インド地域における競争力向上を図る
- よりお客様に近いところで生産し、
  物流などの効率を向上

２００８年４月より稼働予定







全拠点

国内4製作所+1開発センター、海外14拠点の拠点体制




YUTAKA
Clean for the Future